



キュレーター林綾野さんによる名画への案内

フェルメールの秘密を追う



ヨハネス・フェルメール《窓辺で手紙を読む女》(修復後)
1657-59年頃 ドレスデン国立古典絵画館
© Gemäldegalerie Alte Meister,
Staatliche Kunstsammlungen Dresden,
Photo by Wolfgang Kreische

17世紀オランダを代表する画家ヨハネス・フェルメール。1632年、オランダの街、デルフトに生まれたフェルメールは20歳の頃より画家として活動を始めました。彼が得意としたのは「風俗画」と呼ばれる人々の暮らしの様子を描いた絵です。窓からそっと光が差し込む部屋に、ひとりたたくみ手紙を読んだり、楽器を奏でる女性たちの姿を美しく穏やかに描き出しました。フェルメールの絵は、現在世界に35点ほどしか残っていませんが、そんな貴重な作品の1点、ドイツ、ドレスデン国立古典絵画館が所蔵する「窓辺で手紙を読む女」が、現在来日しています。*

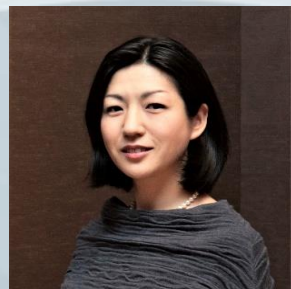
1657-59年頃、フェルメールが25歳から27歳くらいにかけて描いたとされるこの絵は、実は修復作業を終えたばかりです。これまで何も描かれていなかった絵の中の壁の上に現れたキューピッドの絵。本講座ではこのキューピッドをめぐるエピソードをはじめ、数奇な運命を辿ったフェルメール作品に注目します。画家が絵を描いて350年以上の月日が流れる中に巻き起こったドラマチックな物語。名画が秘めるミステリアスなストーリーとともに、フェルメールの絵の魅力に迫ります。

*ドレスデン国立古典絵画館所蔵
「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」

大阪市立美術館 2022年 7月16日(土)- 9月25日(日)
宮城県美術館 2022年10月 8日(土)-11月27日(日)

林 綾野 (ハヤシアヤノ) プロフィール

神奈川県横浜市出身、キュレーター。美術館での展覧会企画、美術書の企画、執筆を手がける。新しい美術作品との出会いを提案するために画家の芸術性と合わせてその人柄や生活環境、食への趣向などを研究。著作『フェルメールの食卓』『絵本でよむ画家のおはなし ぼくはヨハネス・フェルメール』『画家の食卓』(講談社)『浮世絵に見る江戸の食卓』(美術出版社)など。近年企画した展覧会に「柚木沙弥郎 life・LIFE展」「堀内誠一 絵の世界展」などがある。雑誌『InRed』『料理王国』で連載中。



- ◆入場料：1,000円 (事前予約制で先着120名まで、予約後のキャンセルは料金を頂きます)
- ◆予約連絡先：教育会館事務局 TEL 046-824-0683 (平日月～金 9:00～17:00)
- ◆予約開始は7月19日(火)です

入場者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染防止のため、以下の点についてご理解と協力をお願い致します。

○入館時について

- *正面玄関にて検温いたします。 *発熱や咳など体調に不安のある方は、入場できません。
- *館内に入ったら手をアルコール消毒し、マスク着用をお願いします。

○受付時について

- *受付で名前を伝え、入場料を支払います。

○入場について

- *受付が終わったらそのまま入場します。資料は座席に置いてあります。

○入館後について

- *ホールやホワイエ等での会話はご遠慮ください。